



つるおか 宏 祥 鶴岡ひろよし県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411



一般質問に登壇し、地域の声を代弁する鶴岡県議

茂原市選出で県議2期目の充実した議会活動を展開する鶴岡宏祥(つるおかひろよし)県議は、9月定例会議の一般質問に登壇し、市民の声を代弁し、地域の要望をしっかりと県政に伝えました。この中で、懸案の「茂原には工業団地」の造成問題では、鶴岡県議が早期整備を強く要望し、県当局から「地方創生の一環としても、同工業団地の工事着手を本年度に前倒しし、早期に分譲を開始したい」との積極的な答弁を引き出しました。その他、長生グリーンラインの進捗状況など、道路や災害対策、医療問題などと合わせ、主な質疑を特集しました。

定例会議 一般質問に登壇

にはる工業団地

工事前倒し、早期分譲開始へ

9月補正予算で経費を計上

鶴岡議員 茂原市は、電子工業や化学工業の中心都市として発展してきたという経緯もあり、製造業のさらなる集積につながる「茂原にはる工業団地」は、圏央道の開通効果を地域経済の活性化につなげる切り札でもあると考えております。

そのため、これまで県議会で何度も取り上げられてきたが、できるだけ早く工業団地の整備を進め、立地する企業と地元企業との新たな取引の発生源をもちたいと考えております。

茂原市は、このことを、私も、そして地元にも大いに期待しております。こうした中で、今回の補正予算案では、早期分譲を行うための造成工事の一部の前倒しを行うための経費が計上されており、地元期待にこたえるものと高く評価しております。

そこで伺います。茂原にはる工業団地整備の進捗状況はどうか。また、工事の前倒しによる今後の造成や分譲のスケジュールはどのようになるのか。

ともに、実施設計を進めてまいります。

現在、国が最重要課題として取り組んでいる「地方創生」の検討項目として、地方における雇用の創出が位置づけられているところであり、その受け皿ともなる本工業団地の整備につきましては、平成27年度当初の工事着手を本年度に前倒しし、29年度半ばに造成を終了させ、早期に分譲を開始したいと考えています。

すでに、企業の早期立地を図るため、工業団地のパンフレットを作成し、東京や大阪で知事のトップセミナーを皮切りにPRを始めたいと考えています。今後とも、地元茂原市と連携し、積極的に誘致活動に取り組んでまいります。

河川整備計画の策定

鶴岡議員 茂原市を貫流する一宮川は、恒久的な浸水対策として現行の河川計画を見直す必要があると考えています。河川整備計画を早期に策定することは、沿川住民の安心・安全のための早期工事着手が望まれます。一宮川水系河川整備計画の策定状況はどうか。

県土整備部長 河川整備計画は、今後、概ね20年間

に実施する具体的な整備内容を定めるものであり、学識経験者、関係自治体の長関係住民などからなる「流域懇談会」を設置し、その意見を聞きながら、計画策定を行うものです。

一宮川については、平成26年5月29日に、第1回流域懇談会を開催し、洪水対策及び津波対策について、計画のたたき台となる整備

方針を示したところです。今後、流域懇談会において「治水」「利水」「環境」の調和の取れた計画となるよう議論し、本年度末の計画策定を目指してまいります。

鶴岡議員 昨年の災害は10月16日でした。1年が経過しようとしています。未だに整備計画の内容が決定されていません。第2回の懇談会は今月末の予定と聞きますが、災害から1年以内の今月中の開催を強く希望する思いから、具体的な日程をお聞きしたい。

県土整備部長 今年度2回目となる流域懇談会は、10月27日に開催を予定しております。

地域の思いを県政に

●茂原市や県政のご相談、ご要望をお聞かせください

鶴岡ひろよし 県事務所

〒297-0037 茂原市早野2130 TEL.0475(27)2601/FAX.0475(26)2839

鶴岡県議の一般質問

詳しくは千葉県議会のHPをご覧ください。



千葉県議会

インターネット中継(録画)

鶴岡宏祥

地域の声を代弁し、県政に反映を!

長生グリーンラインの整備

鶴岡議員 圏央道の東金・木更津間が開通し、交通利便性が飛躍的に向上しました。今後は、この利便性を外房地域全体へ広めていくことが重要であり、そのためにも長生グリーンラインの早期整備が必要です。長生グリーンラインについては、昨年

も質問しましたが、着々と整備が進んでおり、私の地元

の茂原市まで1日も早くつな

がかり、地域経済の活性化に結びつくことを期待しております。そこで、長生グリーンラインの進捗状況と今後の見通しはどうか。

県土整備部長 現在、茂原長南インターチェンジから広域農道までの6.5キロの整備を進めており、長南町区間においては、橋梁などの工事を、茂原市区間においては、境界立会いや用地測量

を実施しています。今年度中には、茂原市区間の用地取得に着手することとしており、茂原長南インターチェンジから県道茂原大多喜線までの区間について、平成31年度までの供用を目指してまいります。



本会議場の自席から再質問に立つ鶴岡県議

3カ所の交差点改良

鶴岡議員 国道409号上茂原交差点改良と県道茂原長生三貫野線交差点改良の今後の見通しはどうか。

県土整備部長 上茂原交差点は、六ツ野交差点は、小学校の通学路となっており、歩道が狭いことから、歩行者の安全確保のため、歩道整備と合わせて交差点改良を行う必要があると考えています。今年度は、事業実施に向けて地元市と調整しながら、交通量調査を行います。今後は、地元関係者の協力を得ながら、早期事業化に向けて努力してまいります。

鶴岡議員 国道409号上茂原交差点改良と県道茂原長生三貫野線交差点改良の今後の見通しはどうか。

県土整備部長 六ツ野交差点は、小学校の通学路となっており、歩道が狭いことから、歩行者の安全確保のため、歩道整備と合わせて交差点改良を行う必要があると考えています。今年度は、事業実施に向けて地元市と調整しながら、交通量調査を行います。今後は、地元関係者の協力を得ながら、早期事業化に向けて努力してまいります。

鶴岡議員 圏央道の東金・木更津間が開通し、交通利便性が飛躍的に向上しました。今後は、この利便性を外房地域全体へ広めていくことが重要であり、そのためにも長生グリーンラインの早期整備が必要です。長生グリーンラインについては、昨年

も質問しましたが、着々と整備が進んでおり、私の地元

の茂原市まで1日も早くつな

「アラート」を新導入

鶴岡議員 災害による被害を減らすため、県として

取り組むべき課題もあると思うが、災害時の住民への情報提供をどう行っていくのか。

森田知事 市町村が発表する避難勧告等の情報は、市町村の防災行政無線等で住民に提供されるほか、県も防災ポータルサイトや報道発表を通じて提供しています。近年、全国各地で発生し

ている記録的な豪雨や大規模な土砂災害を踏まえると、避難勧告等の情報を確実に住民に伝達することが、ますます重要となっています。そこで県では、高齢者などにも身近で容易に利用できるテレビやラジオなどから、避難勧告等の情報を県民が即時に入手できる、いわゆる「L(エル)アラート」を新たに導入することとし、来年3月の運用開始に向けて準備を進めています。

県産米の消費拡大

鶴岡議員 県産米の消費

拡大について、どのように取り組んでいくのか。

農林水産部長 県産米の消費拡大を図るためには、県民や首都圏の消費者へ「千葉の米の食味の良さ」を積極的にPRするとともに、県内や首都圏の量販店をはじめ、近年、米の取扱量が増加している外食や中食業者等の実需者に売り込んでいくことが重要だと考えています。このような中、県ではこれまで

1. 量販店や外食、中食業者へ「千葉の米」の良さをアピールし、購入意欲を高める「産地見学会」の開催
2. 小売用の米販売袋に「チーバくん」のデザインを活用したPR
3. 首都圏や県内の量販店等で行う千葉葉フェアをはじめとする販売促進活動での積極的なPR
など、県産米の消費拡大に取り組んでまいります。

産婦人科医の確保

鶴岡議員 県内の産婦人

科医等の人数は増加しているのか。また、県として産

婦人科医等の確保にどのように取り組んでいるのか。

保健医療担当部長 県内の産婦人科または産科に従事する医師数は、平成24年末現在437名で、平成22年に比べ22名増加しています。県では、産婦人科医の確保・定着を図るため、産婦人科医や産婦人科医を目指す研修医の処遇改善に取り組むとともに、通常の分娩を助産師が担う院内助産所の整備促進により、医師の負担軽減に努めています。また、地域の自治体病院に一定の年数勤務することを条件に、修学資金を医学生に貸与しており、この中には、産婦人科医を目指す学生も含まれていることから、今後、地域の病院への就業

が期待されているところです。

要望 本年度から実施した県外の医学部生を対象とする修学資金の応募者が募集定員を上回り、結果として落選した学生もいる状況と聞き、この制度拡充が有効なものだと考えます。

また、貸付対象人数の拡大については、ぜひ拡大してほしいと考えます。合わせて、わが地元の茂原市をはじめ、県内では分娩可能な医療機関が少なく、対応可能な医師数も少数という厳しい出産環境の地域があることを踏まえ、さらなる産婦人科医等の確保に努めていただくことを要望します。

また、保護者からの要望の多い放課後支援についても、新設校の児童生徒が引き続きサービスを利用できるように、健康福祉部や地元市町村と連携しながら、事業者への情報提供や意見交換などを進めているところです。

要望 (仮称)大網白里特別支援学校のどちらの学校に通学するにしても、安心して通学できるよう通学手段の確保をはじめ、適切な対応が図られるよう要望します。

特別支援学校で要望

鶴岡議員 平成27年度開校予定の(仮称)大網白里特別支援学校の準備状況はどうか。

教育長 県教委では本年4月、関係校に開設準備室を設置し、学校や地域のニーズを踏まえながら、円滑な開校に向けて準備を進めているところです。特に、児童生徒が通学する学校の決定については、意向調査をもとに保護者と個人面談等を実施し、児童生徒一人ひとりの状況に配慮しながら検討を進めています。

また、保護者からの要望の多い放課後支援についても、新設校の児童生徒が引き続きサービスを利用できるように、健康福祉部や地元市町村と連携しながら、事業者への情報提供や意見交換などを進めているところです。

また、(仮称)大網白里特別支援学校のどちらの学校に通学するにしても、安心して通学できるよう通学手段の確保をはじめ、適切な対応が図られるよう要望します。